



坂道収第 464号  
平成19年5月1日

国土交通省道路局長  
宮田年耕様

坂戸市長 伊利 仁



中期的な計画の作成にあたっての道路政策や道路の整備・管理について (回答)

貴職におかれましては、日頃より本市の道路行政に対しまして、格別のご指導を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました標記につきまして、下記のとおり回答いたしますのでよろしくお願い申し上げます。

#### 記

#### 1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

##### 《首都圏三環状の早期完成》

- ・道路は、国民生活を豊かにし、活力ある経済社会活動を支える最も基本的な社会資本である。しかしながら、首都圏においては、多くの道路で交通渋滞が見られ、多大な経済損失や環境悪化が生じているなど、住民の生活や産業活動に深刻な影響を与えている。については、首都圏三環状の早期完成を強く望みます。

#### 2 効率化を徹底的に進める上で重視すべきことについて

##### 《スピードアップとスケジュール管理の徹底》

- ・平成17年11月、国では首都圏中央連絡自動車道を「目標宣言プロジェクト」に定めたように、他の高速道路や高規格幹線道路も目標を掲げ、スピードアップした整備を強く望みます。

#### 3 その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見について

##### (1) スマートインターチェンジの設置について

- ・首都圏中央連絡自動車道(仮称)坂戸インターチェンジ周辺地域については、インターチェンジの開通と広域幹線道路の整備促進による道路交通の優位性をいかし、工業・流通などの産業振興に資する土地利用を推進しております。また、坂戸市入西地区については、既存インフラを活用した工業団地の拡張を図るとともに、首都圏中央連絡自動車道や関越自動車道への交通アクセスの優位性を高め、広域的な交通の利便性を確保することによって、工業・流通系の土地利用を推進しております。このため、「高速ネットワークの効率的活用・機能強化」を図りたく、関越自動車道の入西地区へ「スマートインターチェンジの設置」を計画い

たしておりますので、特段のご配慮をお願いします。

(2) 電線共同溝事業の推進について

- ・安全で快適な通行空間の確保及び都市景観の向上を目的とした、電線共同溝事業の推進に対する財源の確保をお願いします。

(3) その他都市計画道路等、真に必要な道路整備を推進し、道路行政が後退することのないよう、予算の充実をお願いします。